第1学年 松・竹・梅組 算数科 『2学期のまとめ』 略案

指導者 大須賀 章子(T1) 杉山 徳子(T2)
土田 亮輔(T3) 佐々木 智子(T4)

1. 日時 12月 8日(木) 2校時(9:20~10:05)

2. ねらい 2学期に習った学習内容の習熟を図る。

3. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価(評価)	センターの先生の支援
9:20	1. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">2学期のべんきょうをしっかりとみにつけよう。</div>	前時の学習の習熟度を把握し、あらかじめ文章問題コースから始める子どもを決定しておく。 すぐにプリント学習に取り組めるように場を準備しておく。	挨拶と自己紹介をする。
9:25	2. コース別に問題に取り組む。	足し算(繰り上がり)コース 【25人程度】(T1担当) 引き算(繰り下がり)コース 【25人程度】(T2担当) 3口の計算コース 【25人程度】(T3担当) T4は問題づくりコースでTV会議システムのやり取りや児童の学習を支援する。(コースを増やすかもしれません。要検討) ・各コースで計算問題や文章問題のプリント2枚を準備する。(10分程度で終わる問題量を目安に) ・児童が自ら学習を進めることができるように、学習チェックカードを準備する。 ・机間巡視をしながら躓きが見られる児童の支援に当たる。 各コースで用意したプリントの問題を正しく解くことができる。	問題づくりコース 【最初15人程度、移動あり】 ・求残・求差の問題づくりができる場面の絵を準備する。 ・児童が作った問題を見て、必要な数字や適切な言葉がきちんと使われているかチェックする。 ・問題を見せに来た児童に対して賞賛したり、助言を与えたりする。 場面の絵を見て、正しく問題づくりができる。
10:00	4. 本時の振り返りをする。	・がんばりが認められる子どもの振り返りを選び、発表の指名をする。	・感想や助言を話す。